

特集

本気の授業設計

今の授業を振り返る、新たなノウハウを知る

[対談] 「成果」に結びつく授業に必要なものは 西村礼子、小池啓子

今の授業を見直す

インストラクショナルデザイナーは授業をこう見る、考える 小池啓子

明日から始めたくなるゲーミフィケーションの授業 古堅裕章

自由な学びを保障し、学生の自主性を育むための授業のデザイン

松原まなみ、今福恵子、西村美登里

領域横断で考える教材、カリキュラムの設計と連動 藤野ユリ子

[インタビュー] シミュレーション教育のこれまでに振り返り、
未来の授業をどう拓いていくか 阿部幸恵

解剖・病態・看護学の学びのつながりを意識した授業 西本清香

費用をおさえたシミュレーション教育をめざした工夫 山下哲平

巻頭インタビュー

今、気になるあの本の著者！

特別記事

学生に伝えたい、なぜリフレクションなのか 1年次での「省察的実践法」の実際
..... 上原奈々

協同学習の意味と効果 看図アプローチと看護への応用… 緒方 巧、鹿内信善、織田千賀子

焦点

2022年オンライン「コンセプトに基づく学習」教育セミナー
..... ジェシカ・ゲイ、津波古澄子

連載

看護教育学のススメ ②

看護基礎教育にコーチングを取り入れよう ④ 佐藤尚治／勝田 譲

臨床で本当に必要な薬のおはなし ④ 痛みと鎮痛薬 大井一弥

臨床倫理を映画で学ぼう！ plus ⑩ 浅井 篤

編集後記

臨床の看護師さんや先生方もふくめ、かつて看護学生だったみなさまは「どうして、眠る間も借しんで記録を書かなくてはいけないのか」と学生時代に感じたことがあるでしょうか。今後も、「実践を記録する」という行為がなくなることはないでしょうし、記録をとおした振り返り、先生やクラスメイトとのやり取りこそ、学生の看護実践が育まれると思います。だからこそ、ただ実習記録の大変さを訴えたり、さまざまな記録様式だけを示す構成は避けました。今回の特集が、看護教育の再考につながっていることを願っています。（番匠）

子どもが公園で遊び道具の取り合いになり、泣いてしまうことがあります。そんなとき「あれは〇〇ちゃんのスコップだから……」「順番ここから……」などと理屈で説明しても、なかなか泣き止んでくれません。「つらかったね。嫌な気分になったんだよね」と子どもの気持ちを出してあげると、頷きながら泣き止んでくれます。人と接するときは共感的にコミュニケーションしなくてはいけないと育児をしながら、ふと思いました。（野中）

大井一弥先生の「看護薬理」の連載が各論に入りました。貼付剤をテーマに、わかりやすく解説いただいています。昔、内科医が「シールを張るだけで“バシッ”と効く患者さんがいて不思議」とある降圧薬の貼付剤について話していたのが記憶に残っています。安定して長く効果を発揮し、経口投与できない方も貼るだけ、患者以外でも投与しやすくて手軽。一方、皮膚ケアなどの注意点があります。学生さんにも向けた内容になっていますので、授業などでぜひご紹介ください。（坂元）

看護教育 第64巻3号（通巻760号）

2023年6月25日発行（年6回発行）

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5650

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：番匠・坂元・野中・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2023, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円（本体2,500円＋税10%）

2023年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）

冊子＋電子版／個人：16,500円

（本体15,000円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

『看護教育』は株式会社医学書院の登録商標です。

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2023年2号

特集 EBP と看護教育



忙しい臨床では、実践1つひとつの意味や根拠について考えたり振り返ったりする余裕がないかもしれません。そうした臨床に対して、研究・教育が両輪のもう一方の輪となってケア（実践）の効果を裏付け、さらに効果的な実践へと高めていく、そんなかわりが求められています。

本特集では、ケアを行ううえでエビデンスはどう役立つか、EBPを進めるうえで教育機関が果たすべき役割とは何かを、大阪大学での教育事例を交えて考えてみたいと思います。

2023年1号

特集 人生100年時代の看護師の養成 慢性疾患、ヘルスケア、生き方を見ずえる



超高齢社会が今後も進行する日本において、ヘルスプロモーションを理解した看護師の養成が期待されます。高齢者のウェルビーイングへの心構えも重要です。人生100年時代を生きる看護師に求められるピースを探求します。

2022年6号

特集 今こそ新人看護師支援を 移行期に教育機関ができること



コロナ禍で実習経験がない、もしくは非常に乏しいまま卒業し就職した学生の抱える困難に対応するべく、さまざまな教育機関が新人看護師に対する移行期支援を始めています。本特集では、それらを紹介しつつ、学生から看護師への移行期に教育機関ができることを考えます。

2022年5号

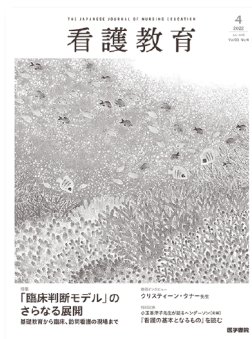
特集1 新入教員の「困った」を考える 特集2 看護教員として知っておきたい 今の学生とコミュニケーション



特集1では、今求められる新人看護教員支援とその展望を、能力開発、教育学それぞれの専門家の視点から解説いただきました。特集2では、今の学生の姿（若者像）を探り、コミュニケーションとは何なのか、看護教員として学生とのコミュニケーションをどうとらえたらよいか、多彩な領域の著者に論述いただきました。

2022年4号

特集 「臨床判断モデル」のさらなる展開 基礎教育から臨床、訪問看護の現場まで



特集では、看護師のその場、そのときの思考に着目した、タナー先生の臨床判断モデルの意義を再確認するとともに、基礎教育や現場でのさまざまな活用事例、また、2022年に新たに示されたモデルの改変ポイントについて解説していただきました。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL : 03-3817-5650 (医学書院 販売・PR 部)

○ 2021年5月号 (Vol. 62 No. 5) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>